

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
ゲンキー株式会社	代表取締役社長	藤永 賢一	福井県	卸売業、小売業	<a href="http://www.genky.co.jp/">http://www.genky.co.jp/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2024年2月24日

### (取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

### (法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

### (契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A	① 物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間やドライバーの手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。物流事業者とは、定期的(隔週)に会議を設け、協議、提案を行ってまいります。
2	A	② 予約受付システムの導入	・2019年より導入済みのトラックパス予約システムを普及拡大させるべく、取引先への継続的な利用を促してまいります。
3	A	③ パレット等の活用	・パレット、カゴ台車、ロング台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。
4	A	④ 発荷主からの入出荷情報等の事前提供	・取引先からの物量情報をもとに、当日の出荷見込み台数、出荷可能時間の情報を提供することで、物流事業者の準備時間を確保し、ドライバーが作業時間を確保し余裕を持って作業・配送ができるようにしてまいります。
5	A	⑨ 荷主側の施設面の改善	・ドミナント出店に先駆けて物流施設を県別に立地することで店舗への配送距離を短縮し、倉庫内のレイアウト変更等を行い荷待ち時間と荷役時間を短縮します。
6	A	⑬ 発注量の平準化	・曜日別の納品量平準化のため、サプライチェーン全体のサイクル・スケジュールの見直しをすすめ、曜日波動や月波動などの繁閑差を平準化します。
7	A	⑯ 検品水準の適正化	・納品関連帳票類のWEB化(ペーパーレス化)を推進し、帳票類の收受に要する時間の短縮に取り組んでまいります。
8	B	① 運送契約の書面化の推進	・運送契約の書面化を推進します。
9	F	① 独自の取組	・在庫型物流施設では、商品入荷における自動化・省力化を推進し、納入ドライバーの荷待ち時間と荷役時間を短縮します。

PR欄	
-----	--